

報道関係者各位

2026年3月23日
学校法人千葉学園 千葉商科大学
野村不動産株式会社
特定非営利活動法人ブランディングポート

千葉商科大学、野村不動産、ブランディングポートによるプロジェクト
Be ACTO 亀戸を舞台とした学生主体の地域関係活動の実施
共創する街の魅力再発見と産学民のネイバーフッド・デザイン事業

学校法人千葉学園 千葉商科大学（所在地：千葉県市川市／学長：宮崎緑、以下「千葉商科大学」）、野村不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾大作、以下「野村不動産」）と特定非営利活動法人ブランディングポート（所在地：東京都豊島区／代表理事：安藤奏、以下「ブランディングポート」）は、地域活性化と人材育成の相互発展に関する連携協定書の締結、ならびに2025年7月から約半年間にわたって共同で亀戸地域の魅力再発見に向けた産学民のネイバーフッド・デザイン事業(以下「本事業」)を実施したことをお知らせいたします。



グループワークの様子



「こまち防災たんけん」生活防災体験イベントの様子

1、本事業の内容

野村不動産のエリアマネジメントの取り組みである「Be ACTO（ビーアクト） 亀戸」をフィールドに、学生主体のネイバーフッド・デザイン事業^{※1}を行いました。本事業では、千葉商科大学の学生が地域の魅力や課題を分析し、防災という街の課題に着目し、地域とつながる防災イベントの企画・実施を通じて、地域共創の実践に取り組みました。

※1 地域（ネイバーフッド＝近隣・近所）を単なる“場所”ではなく、生活者が主体となって育てていくコミュニティとしてデザインする考え方・手法

2、Be ACTO 亀戸について

野村不動産では、エリアマネジメント活動の一環として、地域住民の方々が主体となって活動する仕組み「Be ACTO」を支援・推進しております。活動やイベントの拠点となる「場」、仲間づくりをお手伝いする「人」の提供などを通じて地域活性化をサポートしております。東京都江東区亀戸では分譲マンション「プラウドタワー亀戸クロス」4階にBe ACTO 亀戸「まちのビング」を設けており、一般社団法人 ACTO 亀戸が運営を担っております。Be ACTO 亀戸や地域での取組を通じて、亀戸エリアが持続的に維持・発展できるようなエリアマネジメント活動を展開しています。

3、本事業の実施背景

千葉商科大学では今後も暮らしに豊かな街づくりを実現していくために、地域の魅力ネイバーフッド・デザインが都市経営において重要であると考え、共創するまちづくりのための教育研究活動を行っております。

野村不動産では、これまでに様々な街づくりに携わった経験を踏まえ、地域力の維持、持続可能な街づくりには良好な地域コミュニティを維持・形成していくことが重要だと考えており、エリアマネジメント事業に取り組んでおります。

この度、「地域コミュニティから都市を支えるエリアマネジメント活動を通じた街の魅力を再発見すると共に、学生が主体となった活動による学生自身のキャリア自律や街の理解をつくる」ことを目的とし、大学生にキャリア教育を提供するブランディングポート主導のもと、三社で「地域活性化と人材育成の相互発展に関する連携協定書」の締結とネイバーフッド・デザイン事業を実施しました。



プログラムの開発
学生の募集・派遣

活動場所の提供
学生のサポート

全体統括
学生のサポート

4、地域課題としての「防災」に着目した Be ACTO 亀戸での実践

Be ACTO 亀戸のある亀戸地域は河川に囲まれた地形特性を持ち、災害時における住民同士の助け合いが重要となる地域です。一方で、都市部では住民同士の関係性が希薄化しやすく、防災を「特別なもの」として捉えがちであるという課題もあります。

そこで本事業では、防災を日常生活の延長として捉え、地域の人々が自然に関われる「きっかけづくり」とすることを目指しました。学生たちは地域関係者へのヒアリングや現地調査を行い、誰もが参加しやすく、地域のつながりを生む防災イベントを構想しました。

企画された防災イベントは、野村不動産が提供する地域に開かれた拠点「Be ACTO 亀戸」を会場として実施されました。日常的に人が集う空間を活用することで、防災を身近なテーマとして捉える場を創出し、地域コミュニティの形成や防災意識の醸成につなげる取り組みとなりました。

イベント名	「ここまち防災たんけん」生活防災体験イベント
日時	2025/3/21(土) 11:00~16:00
場所	Be ACTO 亀戸(東京都江東区亀戸 6-31-1 プラウドタワー亀戸クロス ゲートタワー4階)
主催	千葉商科大学
内容	Be ACTO 亀戸をフィールドに、大学や地域企業、商店街が連携した防災体験イベント



「ここまち防災たんけん」生活防災体験イベント 当日の様子

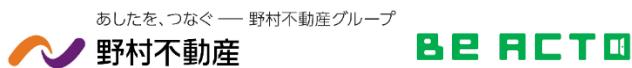
【ご参考】

■ 千葉商科大学について



千葉商科大学はこれまで社会の持続可能性にかかわる環境問題に力を入れてきたのに加え、これからは防災やエネルギーに関する社会課題に対し、実社会で活躍できる人材の育成を目的として「防災・エネルギーセンター」の開設などに取り組んでおります。こうした中でさらに地域防災を強くさせるために、より一層の充実した産学官民の連携に向け本学の知識やノウハウ、防災教育の充実を目指してまいります。

■ 野村不動産のエリアマネジメントの取組み「Be ACTO」について



「Be ACTO」は、野村不動産グループが運営に伴走するエリアマネジメントの仕組みです。地域活動の拠点となる「場」と、地域の新しい関係を後押しする「人」を用意して、地域の方々の主体的な活動を支えます。「Be ACTO」の活動に共感した、街区内に店舗を構える「コアパートナー」をはじめ、住民、教育機関、行政、企業が一体となってエリアの価値を創造しながら暮らしを起点とした街づくりを進めております。

■ 特定非営利活動法人ブランディングポートについて



「すべての若者に“自分ブランド”な生き方を」を使命に、大学・企業と連携し大学生のキャリア自律を支援する特定非営利活動法人です。

学生が主体的にキャリアを描き、社会の中で自分らしく活躍する力を育むことを目的に、以下の2つの事業を展開しています。

(1) B-CAMP (ビーキャンプ)

企業と地域の課題を解決するプロジェクトの企画実践と、自分を振り返る定期的な内省機会の両方を提供する長期実践型インターンシップ

(2) B-COMPASS (ビーコンパス)

大学生の就業力やキャリア観を高めるキャリアセミナー